

件名	28 陳情第3号 八高線の複線化及び上下線本数追加・改善に関する陳情書
<p>1. 陳情の趣旨</p> <p>八高線の八王子-高麗川間上下線追加・複線化を考える上で、そのための公共設備投資にかかる予算の策定、及び地域住民の要望が高い交通の利便性の向上などを図る議会の発議、そして、実際に八高線の本数追加・複線化を実現する事を要望する。</p> <p>2. 陳情理由</p> <p>1. 陳情の経緯として、私は以前より八高線・箱根ヶ崎の利用の際に上り下り共に運行本数が少ないため、乗り換えが他の車線と合わない事や、朝の通勤通学の時間帯で集中的に混雑してしまう事、青梅・武蔵五日市線などと比較すると、上下共に終電の時刻が11時半頃と早い時刻のため帰宅する事ができない場合があるなどの不便さを感じていました。そして以前八高線に関する会議があった事を目にし、駅周辺の公共事業に力を入れているが、未だに運行状態自体の改善などは顕著ではないと思ひ陳情に至った次第です。</p> <p>2. 八高線の改善に関しては瑞穂町だけでの問題ではなく、福生や飯能、八王子などとも話し合いが必要であり、また瑞穂町で福祉バスの運行・整備や、現在新青梅街道・16号線沿いの道路整備行っているなど、とても住みやすい街づくりだと感じています。そして八高線では、乗客の数や運行の効率化からも本数を減らして運転する事も大事だと思います。しかし、身近で八高線の本数が多いと便利で使い易いという意見を多く耳にしており、また瑞穂町はバスが以前より昭島や立川、瑞穂町全体で交通網が発達したことや、新青梅街道・16号線によって人の行き来がし易くなったが、瑞穂町の主要な交通の便である八高線をより良くする事で、瑞穂町の豊かな自然に加え、交通及び商業施設などの都市基盤を築き、さらに住みやすい瑞穂町になるのではないかと考えております。議長からJR八高線の本線追加、複線化に関する詳しい詳細をお伺い致したき所存に在ります。</p>	

※原文のまま掲載しています。